

## 名古屋市こども誰でも通園制度の公募の概要(令和7年度)

令和7年度に実施した公募の概要は次のとおりです。令和8年度の公募については、この内容から変更する部分がありますので、令和8年4月(予定)の公募要項をご確認ください。

### 1 公募内容の概要(令和7年度)※令和8年度は異なる場合があります。

主な応募資格	保育所、認定こども園、幼稚園を運営していること 債務超過や直近3か年の連続した損失計上がないこと
利用児童・利用時間・利用料	利用児童 市内に居住する0歳6か月～満3歳未満の子どもで、保育所等を利用していないもの 利用時間 1月あたり10時間 利用料 子ども1人1時間あたり300円。給食費、おやつ代は実費徴収 補助金 子ども1人1時間あたり900円～1300円
実施方式	一般型 定員を別に設け、在園児と合同又は専用室を設けて受け入れ 余裕活用型 公募の対象外
利用方式	定期利用 利用する事業所、曜日、時間帯を固定して受入れる方法 柔軟利用 利用する事業所、曜日、時間帯を固定せずに、定期的でなく柔軟に受入れる方法
定員・開所日・開所時間	利用定員 原則6人以内。1か月360時間を上限として、自由に設定。 (例) 3人×6時間×月20日=360時間 開所日 週3日以上 開所時間 1日あたり3時間以上
職員配置	配置基準 0歳児3人につき1人、1・2歳児 6人につき1人 乳幼児の年齢及び人数に応じて保育従事者を配置 保育士を1/2以上とし、保育従事者の数は2名を下ることはできない 保育所等と一体的に事業を実施し、職員による支援を受けられる場合には、保育士1名とすることができる。 保育士以外の保育従事者は研修(子育て支援員研修等)を修了した者
乳児室等の面積	乳児室等 乳児又は満2歳に満たない幼児1人につき3.3㎡以上 保育室等 満2歳以上の幼児1人につき1.98㎡以上
食事の提供	事業者の判断により提供可能
システム	こども誰でも通園制度総合支援システム(国システム)を利用

### 2 公募スケジュール(令和7年度)※令和8年度は異なる場合があります。

公募開始日	令和7年5月1日
事前確認	令和7年5月16日
応募書類提出期限	令和7年5月30日
事業者選定	令和7年6月27日
事業開始日	令和7年10月1日

3 公募に関する QA(令和 7 年度)※令和 8 年度は異なる場合があります。

区分	質問	回答(令和 7 年度) ※令和 8 年度は異なる場合があります。
1	週3日以上で開催とあるが、行事がある場合には、事業を休止して良いか。	可能です。
2	給食を提供しなくてもよいか？	給食の提供しないことも可能です。
3	9時から16時までを予定しているが、給食を提供しないため、12時から13時は事業を実施しなくてもよいか。	可能です。開所時間は連続する必要はありません。
4	在園児と一緒に過ごす場合、保育室の面積基準を超えてもよいか？	在園児と同じ保育室で過ごす場合は、こども誰でも通園制度の子どもを含めた面積を確保してください。
5	面談の予約はどのようにするのか？	国システムにより、利用者がスマホ等で面談予約をします。事業者はパソコン等で面談予約の申し込み状況を確認し、日程調整を行います。
6	格付職員を配置することはできるか。	名古屋市の運営費補給金制度にて格付職員となっている者を、こども誰でも通園制度に配置する場合は、格付対象外となります。
7	こども誰でも通園制度の専任の職員は、非常勤でもよいか。	可能です。
8	監査の結果も応募書類に含まれるか。	監査の指摘事項の改善報告も応募書類に含まれます。ただし、添付書類が大量にある場合は、ご相談ください。
9	公募の評価はどのように行われるのか？	外部有識者や保育園長経験者等が、評価基準に基づいて評価します。
10	駐車場は必須か。	公募の条件ではありませんが、公募の評価には影響します。
11	市外の子どもを受け入れることはできるか？	令和7年度は、市外の子どもの受入はできません。
12	この制度の詳しいことは、何を調べるとよいか。	まずは、こども家庭庁が作成した「こども誰でも通園制度の手引」が分かりやすくまとめられています。また、こども家庭庁のホームページに「こども誰でも通園制度に関する Q&A」も参考となります。